



試合中の高橋和彦選手

高橋和彦選手、柔道日本一に輝く！

全日本選抜体重別選手権が4月5日、福岡国際センターで行われ、男子100kg超級で、一の宮中学校出身の高橋和彦選手（新日鉄所属、24歳）が見事優勝しました。今大会は柔道の世界選手権（8月・オランダ）代表の最終選考会を兼ねた大会とあって、国内の有力選手が白熱した試合を展開する中、最も過酷な100kg超級で戦う高橋選手は、準決勝で嘉納杯優勝の高井洋平選手（旭化成）を、また、決勝でこれまで勝てなかった佐藤武尊選手（了徳寺学園職）を破り、念願の初優勝を決めました。高橋選手は、塩塚の出身で、宮地小学校1年から兄弟とともに柔道を習い、大牟田高校、国士舘大学へと進み、平成19年度全日本学生体重別選手権でも日本一に輝いています。



ー内柴選手も同大会で優勝！ー

同じく、一の宮中学校出身で、オリンピック金メダリスト内柴正人選手も、全日本選抜体重別選手権66kg級で見事優勝しています。

交通事故死ゼロを願ってキャンペーンを実施！



▲熊本県警察音楽隊によるコンサート

阿蘇地区交通安全協会及び阿蘇警察署主催による平成21年交通安全阿蘇の集いが4月6日、ホテルサンクラウン大阿蘇で開催され、交通安全関係者約250人が参加しました。

これは、同日から15日までに実施された春の全国交通安全運動の一環として、「世界の阿蘇から交通事故死ゼロ」をスローガンに開催されたものです。

この日、交通安全功労者表彰などの各種表彰や、阿蘇自動車学校から阿蘇市及び産山村への交通安全旗の贈呈などが行われたあと、熊本県警察音楽隊によるコンサートが開催され、会場は大いに盛り上がりました。

▼このほかにも様々な交通安全キャンペーンが行われました！▼



4/10阿蘇地区安全運転管理者等協議会(渡邊富廣会長)の皆さん(130名)によるハンドプレートキャンペーン



4/14阿蘇市女性団体連絡協議会(神保京子会長)の皆さん(20名)による廃油石鹸配布